

アークテリクス史上最大規模のブランド・エクスペリエンスイベント 「ARC'TERYX MUSEUM」開幕

本開催にて初公開の「ARC'HIVES BOOK」やブランドの原点となる製品を展示
期間：2024年4月20日（土）～5日（日） 時間：11時～19時（入場無料）
場所：6142HARAJUKU（原宿キャットストリート）

業界の常識を再定義した技術革新と製品によって、アウトドアプロダクトの進化をリードしてきたアークテリクス（アメアスポーツジャパン株式会社 本社：東京都新宿区新宿6丁目27番30号新宿イーストサイドスクエア6F、代表者：Sean Hillier）はアークテリクス初のブランド・エクスペリエンスイベント「ARC'TERYX MUSEUM」を、ブランドパーパスである「LEAVE IT BETTER（この世界を、より美しく。）」のテーマのもと、2024年4月20日（土）から5月5日（日）まで開催いたします。



特設ページ：<https://tinyurl.com/2962bq2g>

■「ARC'TERYX MUSEUM（アークテリクスミュージアム）」イベント概要

開催期間：2024年4月20日（土）～5月5日（日）

開催時間：11:00～19:00

入場料金：無料

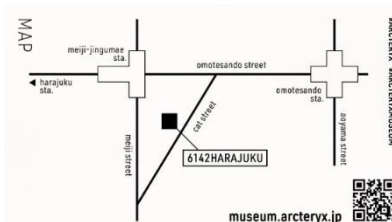
開催場所：6142HARAJUKU（原宿キャットストリート）

入場方法：予約不要。

BIRD CLUBアプリ会員さま | 入場チケット提示（アプリに19日配信済み）

BIRD CLUB未会員さま | 入場時、お手持ちのデバイスよりお名前とメールアドレスをご入力後、
入場チケット画面を発行。

ARC'TERYX BIRD CLUBについてはこちら<https://arcteryx.jp/pages/birdclub>



■ 展示概要

展示会場は3フロアに分かれており、様々な角度から「**LEAVE IT BETTER**」を体験いただけます。

【3F】Who We Are

カナダ・バンクーバーで生まれたアークテリクス。「なぜここで、どのように製品を生み出しているのか」デザインそして生産の拠点を映像インスタレーションにて、アークテリクスの世界観をお伝えします。

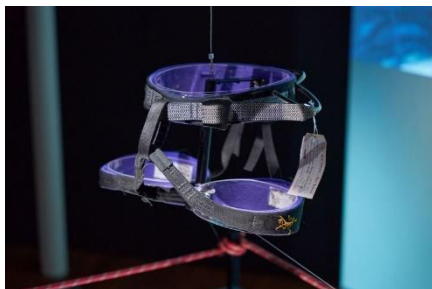


【2F】Product Innovation

山々からのインスピレーションから生まれ、過酷で多様な自然環境の中で試行錯誤を繰り返し、常に進化を続ける数々のプロダクト。その中から、エポックメイキングな3つのプロダクトをセレクト。

開発から現在に至るそのイノベーションの変遷をご覧ください。

▽ Harness



アークテリクスの原点であるハーネス。1989年初期のシリーズから、熱成形フォームを使用する原点となったVAPO R、そして最新のSKAHAハーネスまでのテクノロジーの進化を辿ります。

▽ Backpack



1994年に誕生した「BORA BACKPACK」は、VAPOR HARNESSで高い評価を受けた、熱成型型3Dフォームを採用し、これまでにない背負い心地を実現。今も進化を続けるBORAシリーズの変遷を辿ります。

▽ Hard Shell Jacket



1998年に誕生した「ALPHA SV JACKET」、クライマーの原点で4年近い取月をかけて作り上げられたこのジャケットは、止水ジッパー、防水シームテープ、生地素材、フード形状など様々なテクノロジーを採用。その進化の過程を辿ります。

【1F】One hundred ARC'HIVES

今回の展示では、90年代から現在に至るまでの希少なプロダクトを100点以上展示しています。これらは、日本全国のアーケテリクスにゆかりのある多様なユーザーと、ご応募いただきました方々からお借りいたしました。アーカイブだからこそその風合いは、製品とオーナーが積み重ねてきたストーリーを感じさせ、世界中のアーケテリクスフリークにとっても興味深いものが揃いました。一部のストーリーはこちらでも公開しています。 <https://tinyurl.com/2962bq2g>



■「ARC'HIVES BOOK」を、本日初お披露目

貴重なアーカイブとそれぞれのエピソードをまとめた、140ページに渡るアーカイブアルバムです。表紙にはアーケテリクスのシャルジャケットで実際に使用されている、ゴアテックス、ジッパーを採用しています。



ReBIRD™

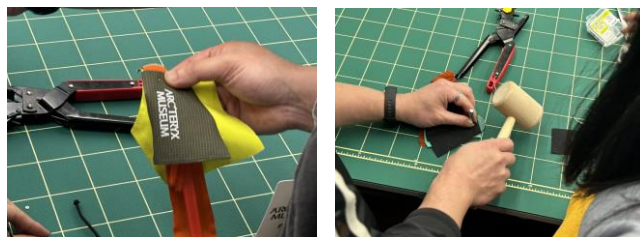
東京 丸の内ブランドストア、大阪 心斎橋ブランドストアにて展開中のReBIRD™カウンターをイメージしたスペースでは、デザインの力で循環を促す仕組み ReBIRD™プログラムを紹介。廃棄せざるを得ない製品を使用した小物作りを体験いただくワークショップも開催します。



▽ReCUT™ ワークショップ

「NewMake」とコラボレーション

サステナビリティをテーマに企業と個人が共創するクリエイティブコミュニティ「NewMake」とコラボレーション。「素材に触れて、感じて、自分を表すアイテムへと生まれ変わらせ、“記憶”を持ち帰る」ワークショップで「NewMake」とコラボレーションです。ジャケットを中心に、廃棄(店頭に並べることができなかった)プロダクトが、新たなアイテムに生まれ変わります。



ARC'TERYX MUSEUM会期中のみ、特別ラッピングを施したNewMakeのリアルな拠点「NewMake Labo」にて実施

もう着用・使用することができないアーケテリクスのプロダクトをお持ちいただき、新たな製品に生まれ変わらせる、アップサイクルワークショップです。ティッシュケースもしくはトートバッグを制作いただけます。

「NewMake Labo」住所：東京都渋谷区神宮前6丁目6-2 原宿ベルピア 104

※事前受付制となります。詳細：<https://arcteryx.jp/pages/museum-event-top>

■開期中には他にも様々なイベントを実施予定です。<https://arcteryx.jp/pages/museum-event-top>

■ ARC'TERYX Brand Head (Japan) 高木 賢、開催にむけての想い

メディア向けに開催されたレセプション冒頭にて、アメアスポーツジャパン アークテリクス ブランドヘッドを務める高木より挨拶。「ご来場のメディア、顧客の皆様を支えられてアメアスポーツジャパンとしてアークテリクスを展開して今年で10年の節目の年を迎えることができました。原宿に最初のブランドストアを構えて10周年の年に原宿の地で開催することができ嬉しく思います。現在ブランドストアを15店舗ほど構えています、私たちの世界観やフィロソフィーをお客様に伝えきれていない。このイベントを通じて“LEAVE IT BETTER”を様々なゲストの皆様感じていただきたいと思います」と開催に込めた想いを語りました。

■ ARC'TERYX MUSEUM OPENING TALK



左からDarren Ritten (ダレン リッテン)、石沢氏、石橋氏

オープニングトークには、アークテリクス本社のアーカイビストDarren Ritten、山形県の月山を中心に活動する山岳ガイドの石沢孝浩氏、帯広市で農家とテレマークスキーヤーとして活動する石橋仁氏のブランドアンバサダー2人が登壇。今回初めての来日というDarrenは、自身の役割であるアーカイビストについて、「様々なものをコレクションしブランドの歴史として皆様に共有する仕事。現在3000点ほどのアイテムをコレクションしている」と説明しました。

カナダでのスキーの際着ていたウエアがボロボロで剥離してしまい、訪れた現地のショップで袖を通したのがアークテリクスとの出会いだったという石橋氏は、アークテリクスのブランドパーパスである“LEAVE IT BETTER”について、「まずは自分自身がいつも自然体でいれるような状況であること、その次は家族。自分さえいいのかと思われそうだが、最低限自分が満足できる状況にないとより良い環境は望めないのではないか」ブランドが信じる“MOUNTAIN MAKES US BETTER”については、「自然は厳しいもので自分の力ではどうにもならない、諦めのようなものを感じ、驕らざにさせてくれる」と話しました。

2005年にアルパイン用のウエアを着用したのがアークテリクスとの出会いだったという石沢氏は、“LEAVE IT BETTER”について、「ガイドでツアーに参加してくれた人が、そこで何かを感じて、職場に戻って活力になればそれが“LEAVE IT BETTER”の意味につながる。人それぞれ感じ方は違って、ブナ林に入って涙を流す人がいる、それをみて僕も元気をもらう、家族に話すことで力になる、それも“LEAVE IT BETTER”につながっていると思う」と語ってくれました。

最後にDarrenは、何がアークテリクスをスペシャルなブランドにしていると思うかという問いに、「創始者のDaveは自身がクライマーでよりよいものを作ろうとテストを重ねた。厳しい環境で何度もトライアンドエラーを行い、その上でデザインを妥協なく追求しつづける精神は、今もブランドに息づいている」とアークテリクスのモノづくりの信念であるクラフトマンシップに触れ、オープニングトークを締め括りました。

■ブランドパーパス「LEAVE IT BETTER」

LEAVE IT BETTER

この世界を、より美しく。

カナダ・バンクーバー。

美しく険しい、コースト山脈の麓に位置するこの地で
アークテリクスは誕生しました。

山々からのインスピレーションは、
挑戦的で革新的なプロダクトを生み出し、
過酷で多様な自然環境の中で繰り返される試行錯誤が、
今もプロダクトの進化を後押ししています。

山々は、私たちがより良き存在にしてくれる。
アークテリクスは、このシンプルな信念を礎としています。

山頂から望む、美しい朝焼け。
バックカントリーで出会う、壮大な景色。
孤独な森の中で発見する、新たな自分。
アウトドアで生まれる、自身の中のポジティブな変化。
共に過ごす時間の中で育まれる、仲間やコミュニティの絆。

自分自身、家族、仲間、コミュニティ、
それぞれの世界を、より良き場所にしていきたい。

LEAVE IT BETTER
この世界を、より美しく。

ARC'TERYX



- 会社概要 -

会社名

アメアスポーツジャパン株式会社 AMER SPORTS JAPAN, INC

本社本拠地

〒160-0022 東京都新宿区新宿6丁目27番30号 新宿イーストサイドスクエア 6F

代表取締役

Sean Hillier (シヨン・ヒリアー)



アーケテリクスは1989年にカナダ西部ブリティッシュコロンビア州・バンクーバーで誕生した。太平洋沿岸部に広がる『コーストマウンテン』と呼ばれる急峻な山岳地帯まで、車で約1時間。日常の中にアウトドア・アクティビティが自然に溶け込んだこの街で、クライミングギアを製造販売するガレージブランド『ロックソリッド』としてスタート。

1991年には、熱成型3Dフォームを活かした「Vapor Harness」を発売するとともに、生物の進化の歴史で最初に空を舞った鳥とされる『始祖鳥』をモチーフに、社名をARC'TERYX（アーケテリクス）に変更した。製品は常に「デザイン フロム スクラッチ」から創り出すという哲学に基づき、『コーストマウンテン』の豊かで厳しい環境の下で培われた技術や経験を基盤に、「デザイン・クラフトマンシップ・パフォーマンス」に拘り、業界の常識を再定義する技術革新を続けながら、最高のパフォーマンスを発揮する最高品質の製品を生み出し、アウトドアプロダクトの進化をリードし続けている。

WHAT ARC'TERYX IS

<https://arcteryx.jp/pages/whoweare/>

- 公式SNS -

HP : <https://arcteryx.jp/>
Instagram : https://www.instagram.com/arcteryx_jp/
YouTube : <https://www.youtube.com/arcteryxjapan>
Facebook : <https://www.facebook.com/ARCTERYXJP/>